

ILCC 授業シラバス

講義コード	ISP (Independent Study Project)
講義科目名	自主研究
開講年度	
開講学期	春学期
曜日時限	
必修選択	必修
単位数	2 単位
担当教員	郭 俊海
使用言語	日本語
教室	センター5 号館 5701
授業概要・目標	この授業は文献講読と社会調査に分かれ、隔週（2 週間に 1 回）行われる。文献講読または社会調査を通じて、レポート作成の方法を学び、総合的な読解力や文書作成力を高め、研究論文執筆に必要な基礎知識を身につける。学期末には 5～6 頁程度のレポートを提出する。
授業形態	文献講読では、各自が日本に関する（政治、経済、文化など）単行本を一冊選び読み通し、その内容をまとめて、2週間に1回読書報告シートを提出（全6回）し、報告をもとにクラスで発表する。社会調査では、各自が興味のあるテーマを選び、そのテーマに関する文献研究や社会調査（インタビュー調査、質問紙調査など）を行う。進捗状況を報告シートにまとめ、2週間に1回提出し、報告をもとにクラスで発表する。
履修に関わる注意事項	1. 必ず予習をしてくること。 2. 宿題は必ず提出期限までに提出すること。 3. できるだけ欠席や遅刻をしないようにすること（やむを得ない場合の欠席や遅刻は必ず連絡すること）。
授業計画（予定）	1. 全体オリエンテーション 2. 計画発表 3. 個人指導① 4. 個人指導② 5. 中間報告発表 6. 個人指導③ 7. 個人指導④ 8. 結果発表 ※詳しい予定表は全体オリエンテーション時に配布する
テキスト	タスクシート（全 6 回）を使用する。
成績評価	1. タスクシート 42% 2. 発表 18% 3. 平常点10% 4. レポート30%
その他 （自由記述欄）	

JLCC 授業シラバス

講義コード	JL203
講義科目名	日本語・日本文化概論 B
開講年度	
開講学期	春学期
曜日時限	
必修選択	選択必修
単位数	2単位
担当教員	郭 俊海
使用言語	日本語
教室	センター5号館 5701
授業概要・目標	日本の歴史（奈良時代から江戸時代まで）を概観し、各時代の主な歴史人物、出来事、政治の変遷、対外政策、建築や美術品などに関する知識を深めるとともに、各種の文献を読むことを通じて日本語力を高める。また、文献の一部として歴史小説を読み、さまざまな日本語（宗教用語、敬語など）に触れ、その時代の空気を感じ、当時の人々の心境を想像することで文章理解力を高め、物語の背景や時代背景を把握する力を養成する。
授業形態	配布された教材（作品）を読んだうえで、タスクシートの質問に答え、それをクラスに持ってくる。クラス活動では、3～4人のグループに分かれて、各自が書いたタスクシートの答えをもとに、時代背景や作家について意見を交換し、グループで話し合う。
履修に関わる注意事項	1. 必ず予習をしてくること。 2. 宿題は必ず提出期限までに提出すること。 3. できるだけ欠席や遅刻をしないようにすること（やむを得ない場合の欠席や遅刻は必ず連絡すること）。
授業計画（予定）	1. オリエンテーション：「歴史を学ぶ」とは？ 2. 歴史：奈良時代まで 3. 歴史：平安時代 4. 歴史小説①「この世をば」 5. 歴史：鎌倉時代、室町時代、蒙古襲来 6. 発表 1 7. 歴史小説②「親鸞」 8. 歴史：安土桃山時代 9. 歴史小説③「利休啾々」 10. 発表 2 11. 歴史小説④「胡蝶の夢」 12. 発表 3 13. 歴史：江戸時代 14. 歴史小説⑤「開国一愚直の宰相」 15. 発表 4
テキスト	毎回プリントを配布する。
成績評価	1. 平常点 20%（授業態度、教室活動に貢献できるかなど） 2. 発表 10% 3. 課題（タスクシート） 70%
その他 （自由記述欄）	発表のガイドラインは最初の授業時に配布する。

JLCC 授業シラバス
記入書式

講義コード	JL205
講義科目名	ジグソー法で学ぶ身近な日本学
開講年度	2024 年度
開講学期	前期
曜日時限	水曜日 2 時間目 (10:30~12:00)
必修選択	選択必修
単位数	2 単位
担当教員	小山 悟
使用言語	日本語
教室	
授業概要・目標	授業概要：「国民食」や「商品のネーミング」など、身近なテーマを題材に現代日本の姿を総合的に捉え、探求していきます。 目標：前期の「歴史」の授業 (JC104) では「問う力」の育成に重点を置きましたが、この授業では、合理的な説明を求めて多面的かつ論理的に分析する力 (合理的・論理的思考力) と、新たな考えを生み出す力 (創造的思考力) の育成に重点を置きます。
授業形態	グループワーク (ジグソー活動など) を中心に進めます
履修に関わる注意事項	歴史の授業ほど語彙は難しくないと考えます。
授業計画	1. ガイダンス、ジグソー法とは何か I 2. ジグソー法とは何か II 3. テーマ 1 「日本の国民食」 (第 1 回ジグソー学習) 4. テーマ 1 「日本の国民食」 (第 2 回ジグソー学習) 5. テーマ 1 「日本の国民食」 (第 3 回ジグソー学習) 6. テーマ 1 「日本の国民食」 (探求活動) 7. テーマ 2 「日本の商品」 (第 1 回ジグソー学習) 8. テーマ 2 「日本の商品」 (第 2 回ジグソー学習) 9. テーマ 2 「日本の商品」 (第 3 回ジグソー学習) 10. テーマ 2 「日本の商品」 (探求活動) 11. テーマ 3 「日本の大学生」 (第 1 回ジグソー学習) 12. テーマ 3 「日本の大学生」 (第 2 回ジグソー学習) 13. テーマ 3 「日本の大学生」 (第 3 回ジグソー学習) 14. テーマ 3 「日本の大学生」 (探求活動) 15. まとめ 注. テーマは変更になる可能性があります。
テキスト	ハンドアウトを配布します
参考書	特にありません
成績評価	①授業参加・教室課題 40% ②小レポート 40% (各テーマの最後に行うまとめ) ③事前学習 20% 注. 変更する可能性があります

学習相談	金曜日
その他 (自由記述欄)	今後の授業改善と教育実践研究のため、授業内で行われるディスカッションを録音したり、提出物や教室課題、アンケートの結果を研究データとして活用したりすることがあります。前者については「話し合いがどの程度活発に行われたか」を分析するために、後者については「授業内容に対する理解がどの程度深まったのか」を分析するために使用します。本授業を受講する人は、そのことを承知の上、ご参加ください。なお、みなさんに黙って録音することはありません。また、この授業で収集したデータを用いて学会等で研究発表する場合には、来場者に録音した音声聞かせたり、手書きされたものを見せたりすることはありません。個人情報の保護に最大限配慮することをお約束します。 なお、一度は許可したものの、「やはり自分のデータを研究に利用されたくない」と思った場合には、小山が皆さんの成績を事務局に提出した日の翌日（3月1日）以降、新学期が始まる日（同4月1日）までにその旨申し出てください。

ILCC 授業シラバス

講義コード	JC201
講義科目名	日本の宗教文化
開講年度	2024 年度
開講学期	前期（春学期）
曜日時限	金曜日 3 時限
必修選択	
単位数	
担当教員	木下博子
使用言語	日本語
教室	
授業概要・目標	本講義では、地域研究の観点から日本における宗教文化の広がりについて、基礎的知識を身につけることを目的とする。現代の日本社会における宗教文化の成り立ちに着目し「カルチャー」としての宗教実践の実態を具体的事例を用いながら概観する。また、履修者自らの所属するコミュニティや社会との比較を通じて、日本社会のみならず自らの社会についても深く理解するための視座獲得を目指す。
授業形態	講義、ディスカッション、プレゼンテーション
履修に関わる注意事項	
授業計画	第 1 回：オリエンテーション 第 2 回：妖怪① 第 3 回：妖怪② 第 4 回：日本社会とヨーガ① 第 5 回：日本社会とヨーガ② 第 6 回：スピリチュアリズム① 第 7 回：スピリチュアリズム② 第 8 回：中間プレゼンテーション（グループ） 第 9 回：マインドフルネスとストレス社会 第 10 回：民間信仰と祭り 第 11 回：モノへの執着と断捨離 第 12 回：宿坊 第 13 回：個人プレゼンテーションと相互評価① 第 14 回：個人プレゼンテーションと相互評価② 第 15 回：まとめ
テキスト	なし。予習や宿題の際に必要な文献を適宜紹介、配布します。
参考書	なし。
成績評価	講義中の発言・参加態度 20%、宿題 40%、中間プレゼンテーション 20%、個人プレゼンテーション 20%
学習相談	短時間の場合、授業の前後に対応します。文献の紹介や、研究テーマの相談等、一定の長さの時間が必要な場合は、メールや口頭でアポイントメントをとってください。
その他 （自由記述欄）	・講義中の積極的な発言を奨励します。 ・宿題は締め切りを守りましょう。 ・授業を欠席する場合は、必ず担当教員に事前に連絡しましょう。

JLCC 授業シラバス

講義コード	JC203
講義科目名	音楽文化にみる日本
開講年度	2023 年度
開講学期	前期（春学期）
曜日時限	木曜日 2 時限
必修選択	選択必修
単位数	2 単位
担当教員	柴田 あづさ
使用言語	日本語
教室	
授業概要・目標	この授業では、日本音楽についてジャンルごとに歴史や伝統、楽器および旋律の特徴などを学ぶ。そして、代表的な作品を動画や実演で視聴し、歌詞を読み解き、歌う／語る体験を通してこの知識を深めていく。履修者は、日本音楽に対する知識を身に付けるだけではなく、自国の音楽との共通点と相違点を見出し、例を挙げながら説明できるようになることを目指す。
授業形態	1.講義 2.動画視聴および実演見学 3.体験 4.確認クイズの受験 5.宿題の提出 6.最終回での発表
履修に関わる注意事項	授業終了前に理解度確認のためのクイズを実施する。出題する問題は授業内容についてであるため、授業中はキーワードのメモをとり、わからないことがあれば教員に積極的に質問すること。また、事前に資料を配布するので、授業前によく目を通しておくこと。
授業計画	1:オリエンテーション、日本音楽の分類 2.雅楽と琵琶湖 3.【体験】雅楽 4.歌舞伎 5.和太鼓 6.【体験】和太鼓 7.民謡・子守歌 8.わらべ唄・童謡 9.【体験】筑前琵琶 10.沖縄の島唄 11.アニメ映画の音楽 12. 昭和の日本音楽

	13.近年の日本音楽 14.発表会準備 15.発表会
テキスト	使用しない
参考書	田中健次（2018）『図解日本音楽史 増補改訂版』東京堂出版 若林忠宏（2019）『日本の伝統楽器 知られざるルーツとその魅力 シリーズ・ニッポン再発見』ミネルヴァ書房 島添貴美子（2021）『民謡とは何か？オルフェ・ライブラリー』音楽之友社 西舘好子（2004）『「子守唄」の謎 懐かしい調べに秘められた意味』祥伝社 山本宏子（2002）『日本の太鼓、アジアの太鼓』青弓社 釣谷真弓（2013）『人物でたどるおもしろ日本音楽史』東京堂出版 星川京児他編（2002）『200CD 邦楽 伝統とニューウェーブ』立風書房 等
成績評価	授業態度 20%、理解度確認クイズ 30%、宿題 20%、発表 30%
学習相談	授業の前後または要望に応じて対応する。
その他 （自由記述欄）	※授業計画は変更になることがある。

ILCC 授業シラバス

講義コード	JC204
講義科目名	九州学
開講年度	2024 年度
開講学期	前期（春学期）
曜日時限	火曜日 5 時限
必修選択	選択必修
単位数	2 単位
担当教員	楠木 理香
使用言語	日本語
教室	5701
授業概要・目標	九州大学が位置する九州地方について、様々な分野から詳しく学ぶ。 戦国時代にキリスト教や鉄砲が伝来し、江戸時代には外国との交流で重要な役割を果たしてきた九州地方。その九州地方について知識を広げ、興味・関心を深めることで愛着を持ち、それが今後の日本語学習や日本での生活への積極的な姿勢へとつながることを目標とする。
授業形態	1. 講義 2. ディスカッション 3. 発表
履修に関わる注意事項	
授業計画	1. コースガイダンス、イントロダクション 2. 九州地方の地理・自然・歴史・文化 3. 九州地方の政治・社会・産業・経済 4. 九州地方の人々の生活 5. 沖縄県 6. 福岡県 7. 熊本県 8. 佐賀県 9. 長崎県 10. 大分県 11. 宮崎県 12. 鹿児島県 13. 発表（1） 14. 発表（2） 15. まとめ
テキスト	なし
成績評価	10% クラス活動 30% ふりかえりシート／ワークシート 30% 宿題／課題 30% 発表
学習相談	リクエストに応じて随時対応します。メールで連絡してください。 kusunoki.rika.336@m.kyushu-u.ac.jp

JLCC 授業シラバス

講義コード	JC205
講義科目名	四コマ漫画に見る日本社会 B
開講年度	
開講学期	春～夏学期
曜日時限	
必修選択	選択必修
単位数	2 単位
担当教員	和田 玉己
使用言語	日本語
教室	センター 5 号館 未定
授業概要・目標	テーマ別の 4 コマ漫画など（会社員、動物が主人公、ステレオタイプ、方言など）その内容について話し合い、関連した読み物（DVD 視聴）を通して日本の現代社会の理解を深める。 また、江戸時代から現代まで親しまれている日本の「笑い（ユーモア）」である「川柳」づくりや「落語」体験を通して日本語のリズムを体感し、現代社会における「笑い」の役割も考える。
授業形態	課題として発表も行う。毎回の課題（作品や関連資料）をもとにペアやグループで感想を紹介し疑問点を出し合い、ディスカッションも行う。
履修に関わる注意事項	1. 課題の予習を必ず行い、期限までに課題を提出する。 2. 他者の課題発表時にも積極的に質問やコメントすることが望まれる。
授業計画	第1回 オリエンテーション 九州関連の漫画家、外国人漫画家の漫画について 第2回 朝日新聞「サザエさんを探して」より 4 コマ漫画と記事 第3回 経済成長期サラリーマン 4 コマ漫画より サラリーマン^{せんりゅう}川柳 第4回 発表① 留学生川柳 第5回 バブル期OL 4 コマ漫画 OL川柳紹介 第6回 中小企業 技術者漫画

	第7回 自分探しの働く女性 漫画 第8回 動物 ^{いや}癒し系漫画 第9回 動物 ^{いや}癒し系漫画 第10回 発表② 猫景気！ネコブーム光と影 現状と対策発表 第11回 落語紹介 第12回 発表③ 落語（グループで読み合わせ）・アニメ化された落語 第13回 発表④「私が選んだ4コマ漫画」（※外国人の漫画家によるもの） 第14回 発表⑤「私が選んだ4コマ漫画」続き 第15回 （発表⑥）発表の補足とまとめ と その他の漫画紹介
テキスト	フ° リント(前の週に配布)を使用する
参考書	1. 清水 勲『四コマ漫画—北斎から「萌え」まで』 岩波新書 2. 大島 希巳江『日本の笑いと世界のユーモア』 世界思想社
成績評価	クラス活動の参加態度、提出されたワークシート、発表、レポートなどに基づいて総合的に評価する。 ^[1]_{SEP}・出席とクラス活動:20% ^[1]_{SEP}・ワークシート:20% ・発表とレポート:60%
学習相談	授業の前後またはリクエストに応じ、て対応する(メールにて事前に連絡すること)。
その他 (自由記述欄)	予定は変更になることがある ※自国の<u>国民性</u>や<u>ステレオタイプ</u>が表現されている<u>外国人作家による4コマ漫画</u>を紹介発表し、それ基づいてレポートを作成する。